

保護者様

横浜市立希望ヶ丘小学校
校長 大平 はな

令和8年度 全国学力・学習状況調査 希望ヶ丘小学校の結果について

初秋の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、令和8年4月23日に全国公立小学校6年生、中学校3年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の調査結果が集計され、本校に届きました。希望ヶ丘小学校の調査結果概要をお知らせします。

【教科・観点別 学習状況調査結果】

○平均正答率（％）

教科	国語		算数	
全国	60.9		56.4	
神奈川県	61		58	
本校	66		65	
観点	知識・技能	思考・判断・表現	知識・技能	思考・判断・表現
全国	62.0	60.1	60.1	45.4
神奈川県	61.2	60.8	61.6	46.2
本校	66.2	65.1	67.7	54.9

○各教科の調査結果における希望ヶ丘小学校の学習状況の分析と考察

<国語> ◎「考えとそれを支える理由や事例など、情報と情報との関係について理解することができるかどうかをみる」問題において、正答率が64.9%となり、全国平均の48.9%を16.0ポイント上回りました。このことから、文章中の情報同士を関連付けながら読み取り、理由や根拠を整理して理解する力が身に付いていると考えられます。 △「引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる」問題は、他の設問と比較し正答率40.3%と最も低い結果でした。このことから、資料や文章から必要な情報を取り出し、自分の考えと関連付けて表現する力に課題が見られます。今後も、根拠を引用しながら自分の考えを書く活動を継続的に取り入れ、書く力の向上を図っていきたいと考えます。	<算数> ◎「昔遊びの計画を見て、条件に合う時間を求める」問題では、正答率88.3%となり全国平均を大きく上回りました。また、「測定」の領域も88.3%と高い結果でした。このことから、数量の関係を捉え、条件に合わせて適切に計算する力が身に付いていると考えられます。 △「二次元の表から条件に合う数を読み取る」問題では、正答率33.8%と他の設問と比較し最も低い結果でした。このことから、複数の条件を整理しながら資料を読み取る力に課題が見られます。今後は表やグラフを活用する学習場面を充実させ、必要な情報を正確に読み取る力を育成していきたいと考えます。
---	---

【生活意識(児童質問紙調査結果)】

○各設問における特徴的な回答状況(%)…「当てはまる」と回答した児童の割合

質問項目	全国	神奈川県	本校
人が困っているときは、進んで助けていますか	47.3	46.2	55.0
学校に行くのは楽しいと思いますか	48.0	49.4	68.8
自分には、よいところがあると思いますか	43.6	44.2	50.0
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	53.4	50.0	70.0

→学校生活や友達との関わりについて肯定的に捉えている児童が多いことが分かりました。また「人が困っているときは進んで助けている」「学校に行くのは楽しい」「自分には、よいところがある」と回答した児童の割合が全国や神奈川県を上回っており、互いを思いやりながら安心して学校生活を送ることができている様子がうかがえます。今後も、一人ひとりのよさを認め合い、安心して過ごせる学級づくりや学校づくりを進めていきたいと考えます。

○各設問における特徴的な回答状況(%)…「当てはまる」と回答した児童の割合

質問項目	全国	神奈川県	本校
将来の夢や目標を持っていますか	58.6	57.3	52.5

→将来の夢や目標をもっていると回答した児童の割合は全国及び神奈川県を下回りました。今後は総合の時間を中心にキャリア教育等を通して、将来への見通しをもてる支援を行っていきます。

【学習意識(児童質問紙調査結果)】

○各設問における特徴的な回答状況(%)…「当てはまる」と回答した児童の割合

質問項目	全国	神奈川県	本校
学級会における話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	31.3	28.3	46.3
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理し、発表する活動に取り組んでいますか	35.5	35.1	46.3
学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	35.2	32.7	40.0

→学級会や総合的な学習の時間において、自ら課題を見付け、考え、行動しようとする児童が多いことが分かりました。特に、「学級会での話し合いを生かして取り組んでいる」(46.3%)、「総合的な学習で自ら課題を立てて学習している」(46.3%)、「課題解決に向けて自分から取り組んでいる」(40.0%)という項目では、10ポイント以上全国平均を上回りました。このことから、本校で大切にしている主体的・対話的な学びや自治的な活動の成果が表れていると考えています。

【教科別の学習意識（児童質問紙調査結果）】

○本校児童の回答状況

項目	全国（国語）	本校（国語）	全国（算数）	本校（算数）
好きだ	24.4%	31.3%	33.9%	40.0%
授業が分かる	36.1%	50.0%	41.9%	58.8%
社会で役に立つ	57.4%	62.5%	66.5%	75.0%

<国語>

→国語の授業について、「授業が分かる」「社会で役に立つ」と回答した児童の割合が全国平均を上回りました。また、学習した内容を将来や社会生活と結び付けて捉えている児童が多いことが分かりました。一方で、「国語が好き」と回答した児童の割合は、「授業が分かる」「役に立つ」と回答した割合と比べると低くなっています。今後は、児童が自分の考えを伝え合ったり、学習したことを実生活と結び付けたりする場面を充実させて、「分かった」「できた」という達成感を積み重ねることで、国語への興味・関心をさらに高めていきたいと考えます。

<算数>

→算数については、「授業が分かる」「社会で役に立つ」と回答した児童の割合が全国平均を大きく上回りました。また、「算数が好き」と回答した児童の割合も全国平均を上回っており、学習内容を前向きに捉えている児童が多いことが分かります。さらに、「算数で学習したことを普段の生活の中で活用できていた」と回答した児童の割合も高く、学びを実生活につなげて考える力が育っていることがうかがえます。今後も、児童が数学的な見方・考え方を働かせながら主体的に問題解決に取り組むことができる授業づくりを進めていきたいと考えます。